



なかしん

# 中小企業景況レポート

No.58 中栄信用金庫 地域支援部

2026年1月～3月実績と2026年4月～6月見込み

## ◆ 調査概要

調査時期 2026年3月上旬  
 調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町  
 調査企業数 340社  
 回答企業数 321社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	91	87	95.6
卸売業	28	28	100.0
小売・飲食業	67	63	94.0
サービス業	50	45	90.0
建設業	67	63	94.0
不動産業	37	35	94.5
合計	340	321	94.4

## ◆ 1月～3月期の概況

### ～労働需給の逼迫が続く中、人手不足感は一段と強まる～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は▲9.9を示し、前回調査（2025年10～12月期）に比べ3.3ポイントの悪化となりました。

今期の調査では、年末における需要増加の反動減に加え、原材料・エネルギー価格や人件費の上昇圧力が継続しており、売上・収益 D.I. は悪化となっております。さらに、中東情勢の緊迫化など海外動向に対する不透明感も重なり、建設業を除く5業種で業況判断 D.I. の悪化がみられております。また、建設業やサービス業を中心とした人手不足感が一段と強まるなか、企業の景況感には先行きに対する慎重な見方が広がっております。

今期の特別調査では、外国人材の活用状況について調査を行いました。その結果、全体で約2割の企業が外国人材を活用しており、特に製造業では約3社に1社が雇用を実施しております。「今後雇用を検討している」「条件次第で雇用を検討する可能性がある」と回答した企業を含めると、約3割の企業で活用に向けた動きがみられ、人手不足への対応や事業拡大の観点から、外国人材の活用がさらに活発となる可能性がうかがえます。

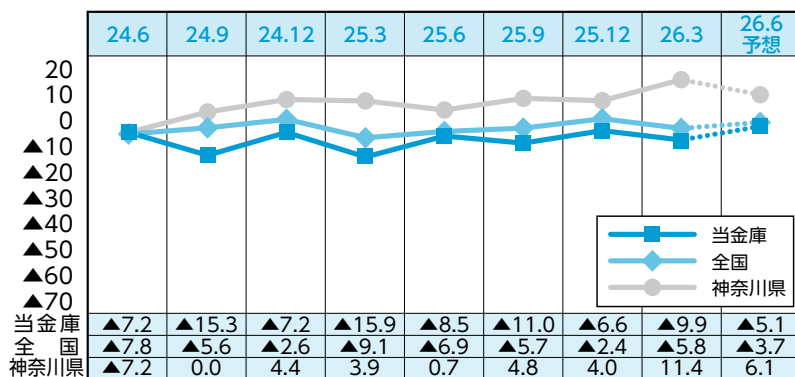
項目別にみると、売上額実績 D.I. は21.4ポイント悪化の▲9.6、収益実績 D.I. は18.3ポイント悪化の▲16.7となっております。仕入価格 D.I. は49.2と前期とほぼ同水準で推移しており、資金繰り D.I. は1.8ポイント小幅悪化の▲11.5、人手過不足 D.I. は1.4ポイント不足感が強まり▲34.3となっております。また、業種別の景況感では建設業が2.7ポイント小幅改善の19.1、製造業が1.6ポイント小幅悪化の▲9.7、小売・飲食業が2.6ポイント小幅悪化の▲29.6、卸売業が3.6ポイント悪化の▲14.3、サービス業が9.3ポイント悪化の▲9.3、不動産業が14.9ポイント悪化の▲25.7となっております。（業種別の詳細につきましては次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断 D.I. は3.4ポイント悪化の▲5.8、神奈川県内につきましては7.4ポイント改善の11.4となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値につきましては信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

## ◆ 4月～6月期の見通し

来期の業況判断予想は4.8ポイント改善の▲5.1、売上額 D.I. は13.4ポイント改善の3.8、収益 D.I. は15.1ポイント改善の▲1.6の見通しとなっております。

### 業況判断 D.I. 値 (全業種)



全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約16,000（うち神奈川県約480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

### 業種別景気天気図

	前期	今期	予想
総合			
製造業			
卸売業			
小売・飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調  
 良い ← → 悪い

# 製造業

## ●概況

製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 1.6 ポイント小幅悪化の▲9.7 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 36.7 ポイント悪化の▲16.9、収益 D.I. は 25 ポイント悪化の▲15.7 となっております。

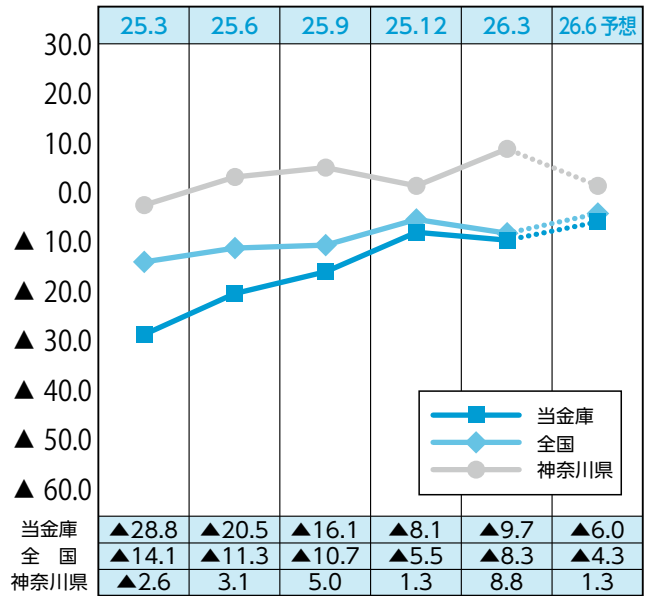
製造業では、期末における大手企業の在庫・生産調整に伴い、受注状況が横ばいまたは減少となる企業が多くみられております。また、中東情勢の緊迫化など地政学リスクによるサプライチェーンの不確実性が懸念されるなか、原材料価格 D.I. が 3 期連続上昇していることに加え、人件費等のコスト上昇も継続していることから、結果として景況感の悪化につながったものと思われまます。

一方、生産能力の増強や省力化に向けた設備投資、新規取引先の開拓など、事業基盤の強化に向けた前向きな取り組みも進められており、需要回復を見据えた動きがみられております。

なお、全国は 2.8 ポイント小幅悪化の▲8.3 となっており、神奈川県は 7.5 ポイント改善の 8.8 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 3.7 ポイント改善の▲6 となっております。

## ●業況判断 D.I. 値



### 売上額

	D.I. 19.8			
前期実績	43.0	33.8	23.2	
当期実績	20.4	42.3	37.3	▲16.9
来期予想	30.1	47.1	22.8	7.3
前年同期比	38.5	33.8	27.7	10.8

### 販売価格

	D.I. 19.8			
前期実績	23.2	73.4	3.4	
当期実績	15.6	80.8	3.6	12.0
来期予想	13.2	85.6	1.2	12.0

### 在庫

	D.I. 7.1			
前期実績	+8.2	90.7	1.1	
当期実績	+10.8	86.8	2.4	8.4
来期予想	+4.8	91.6	3.6	1.2

### 人手

	D.I. ▲20.9			
前期実績	+10.4	58.3	31.3	
当期実績	+7.2	63.9	28.9	▲21.7
来期予想	+6.0	64.8	29.2	▲23.2

### 収益

	D.I. 9.3			
前期実績	36.0	37.3	26.7	
当期実績	18.0	48.3	33.7	▲15.7
来期予想	19.2	54.3	26.5	▲7.3
前年同期比	39.7	33.8	26.5	13.2

### 原材料価格

	D.I. 41.2			
前期実績	42.3	56.6	1.1	
当期実績	43.3	56.7		43.3
来期予想	31.3	67.5	1.2	30.1

### 資金繰り

	D.I. 2.3			
前期実績	15.2	71.9	12.9	
当期実績	12.0	73.6	14.4	▲2.4
来期予想	+9.6	76.0	14.4	▲4.8

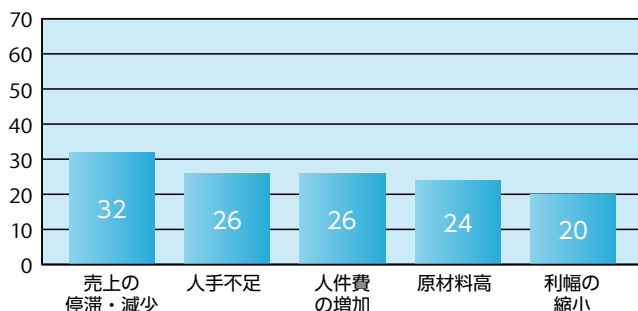
### 設備状況

	D.I. ▲10.5			
前期実績	+4.6	80.3	15.1	
当期実績	+6.0	79.6	14.4	▲8.4
来期予想	+4.8	77.0	18.2	▲13.4

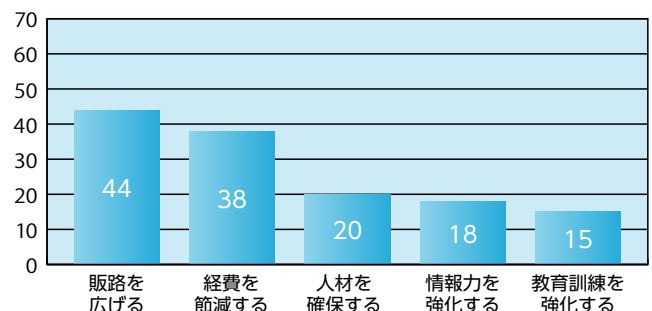
当期実績…2026年 1～3月期  
来期予想…2026年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降  
過剰、楽 適正 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# 卸売業

## ●概況

卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 3.6 ポイント悪化の▲3.6 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 25 ポイント悪化の▲10.7、収益 D.I. は 35.7 ポイント悪化の▲32.1 となっております。

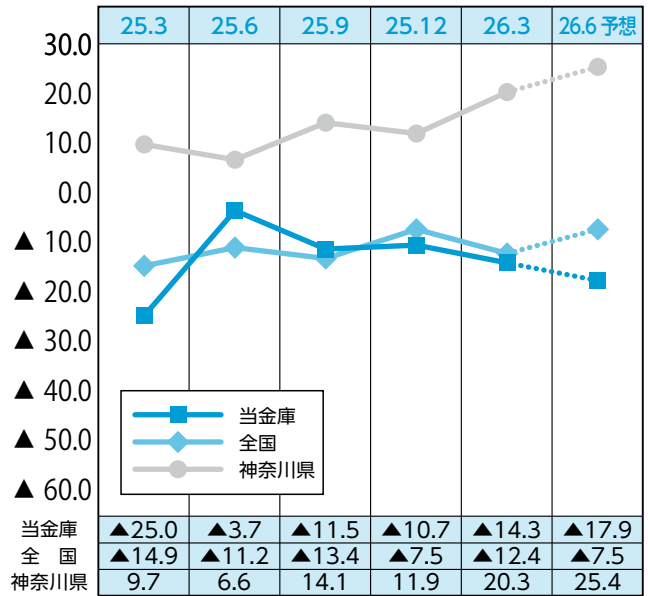
卸売業では、前回調査において企業向け取引を中心に価格改定が進み、売上額 D.I. の改善がみられましたが、足許では年末需要の反動減もあり、販売数量に伸び悩みがみられております。また、生鮮食品や建設資材など幅広い分野で仕入価格の上昇が続いており、収益環境は厳しさを増しております。なお、在庫調整の進展や回収条件の見直し等により、資金繰り面では一部の企業で持ち直しの動きとなっております。

当面の重点経営施策として「販路を広げる」が上位を占めるなか、卸先の減少を背景に販路拡大への意識は高く、取引先開拓や商品構成の見直しが進められております。

なお、全国は 4.9 ポイント悪化の▲12.4 となっており、神奈川県は 8.4 ポイント改善の 20.3 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 3.6 ポイント悪化の▲17.9 となっております。

## ●業況判断 D.I. 値



### 売上額

	前期実績	2025.1~3	2025.4~6	D.I.
前期実績	35.7	42.9	21.4	14.3
当期実績	17.8	53.7	28.5	▲10.7
来期予想	25.0	46.5	28.5	▲3.5
前年同期比	22.2	40.8	37.0	▲14.8

### 販売価格

	前期実績	2025.1~3	2025.4~6	D.I.
前期実績	32.1	64.4	3.5	28.6
当期実績	28.5	64.4	7.1	21.4
来期予想	35.7	57.2	7.1	28.6

### 在庫

	前期実績	2025.1~3	2025.4~6	D.I.
前期実績	14.2	75.1	10.7	3.5
当期実績	7.1	85.8	7.1	0.0
来期予想	7.1	89.4	3.5	3.6

### 人手

	前期実績	2025.1~3	2025.4~6	D.I.
前期実績	3.8	57.8	38.4	▲34.6
当期実績	63.0	37.0		▲37.0
来期予想	66.7	33.3		▲33.3

### 収益

	前期実績	2025.1~3	2025.4~6	D.I.
前期実績	25.0	53.6	21.4	3.6
当期実績	10.7	46.5	42.8	▲32.1
来期予想	14.2	57.3	28.5	▲14.3
前年同期比	18.5	40.8	40.7	▲22.2

### 仕入価格

	前期実績	2025.1~3	2025.4~6	D.I.
前期実績	50.0	42.9	7.1	42.9
当期実績	53.5	43.0	3.5	50.0
来期予想	46.4	50.1	3.5	42.9

### 資金繰り

	前期実績	2025.1~3	2025.4~6	D.I.
前期実績	10.7	53.6	35.7	▲25.0
当期実績	3.5	71.5	25.0	▲21.5
来期予想	7.1	75.1	17.8	▲10.7

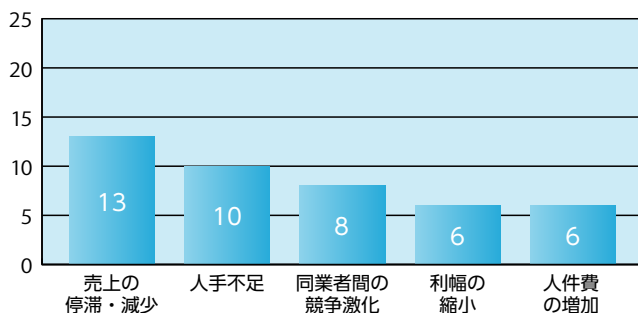
### 設備状況

	前期実績	2025.1~3	2025.4~6	D.I.
前期実績	88.0	12.0		▲12.0
当期実績	77.0	23.0		▲23.0
来期予想	73.1	26.9		▲26.9

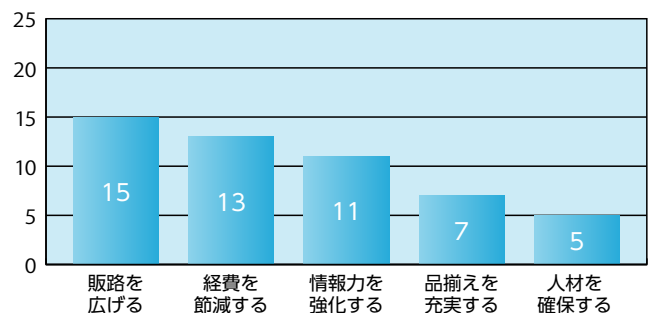
当期実績…2026年 1～3月期  
来期予想…2026年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降  
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# 小売・飲食業

## 概況

小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査比 2.6 ポイント小幅悪化の▲29.6 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 32.8 ポイント悪化の▲32.8、収益 D.I. は 23.6 ポイント悪化の▲42.6 となっております。

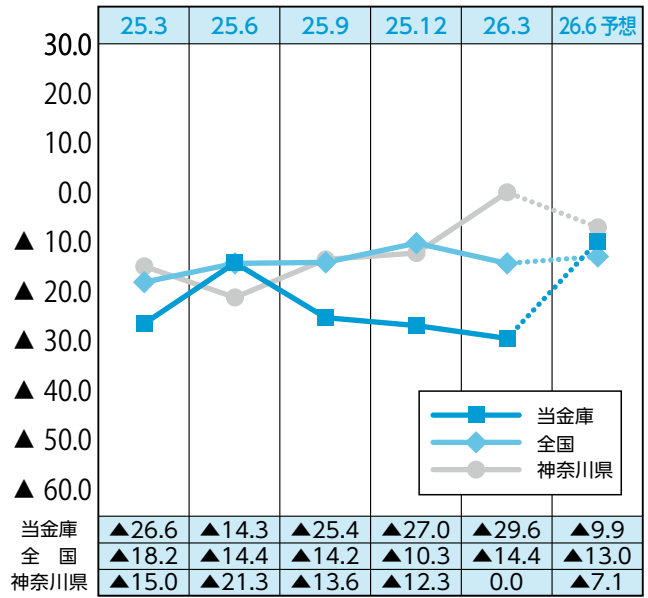
小売・飲食業では、年末需要の反動減といった季節的要因に加え、物価高騰に伴う価格転嫁の進展により家計負担が増加しており、節約志向の高まりも相まって、売上・収益 D.I. はコロナ禍以降で最も低い水準となっております。

また、価格転嫁は一定程度進んでいるものの、コスト増加分を十分に吸収できておらず、収益環境の厳しさが際立っております。こうした中、経費削減や人員体制の見直しにより収益を確保する動きが広がるとともに、販売チャネルの多様化や商品開発を通じた売上確保の取り組みも一部で進んでおります。

なお、全国は 4.1 ポイント悪化の▲14.4 となっており、神奈川県は 12.3 ポイント改善の 0 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 19.7 ポイント改善の▲9.9 となっております。

## 業況判断 D.I. 値



### 売上額

	前期実績	2025.3	2025.6	2025.9	D.I.
前期実績	30.1	39.8	30.1		0.0
当期実績	14.7	37.8	47.5		▲32.8
来期予想	29.5	42.7	27.8		1.7
前年同期比	29.5	32.8	37.7		▲8.2

### 販売価格

	前期実績	2025.3	2025.6	2025.9	D.I.
前期実績	39.6	57.3	3.1		36.5
当期実績	39.3	55.8	4.9		34.4
来期予想	36.0	59.1	4.9		31.1

### 在庫

	前期実績	2025.3	2025.6	2025.9	D.I.
前期実績	+7.9	82.6	9.5		▲1.6
当期実績	+6.5	87.0	6.5		0.0
来期予想	+3.2	91.9	4.9		▲1.7

### 人手

	前期実績	2025.3	2025.6	2025.9	D.I.
前期実績	+4.7	63.6	31.7		▲27.0
当期実績	+4.9	62.4	32.7		▲27.8
来期予想	+10.0	71.7	18.3		▲8.3

### 収益

	前期実績	2025.3	2025.6	2025.9	D.I.
前期実績	19.0	43.0	38.0		▲19.0
当期実績	11.4	34.6	54.0		▲42.6
来期予想	29.5	41.0	29.5		0.0
前年同期比	18.0	42.7	39.3		▲21.3

### 仕入価格

	前期実績	2025.3	2025.6	2025.9	D.I.
前期実績	61.9	35.0	3.1		58.8
当期実績	55.7	42.7	1.6		54.1
来期予想	49.1	50.9			49.1

### 資金繰り

	前期実績	2025.3	2025.6	2025.9	D.I.
前期実績	71.5	28.5			▲28.5
当期実績	68.9	31.1			▲31.1
来期予想	-1.6	73.4	25.0		▲23.4

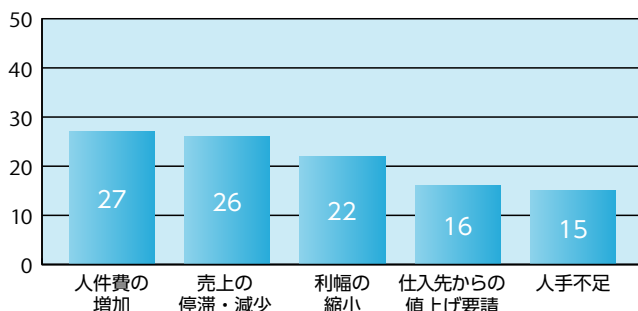
### 設備状況

	前期実績	2025.3	2025.6	2025.9	D.I.
前期実績	-1.6	82.1	16.3		▲14.7
当期実績	-1.6	81.8	16.6		▲15.0
来期予想	+3.3	81.7	15.0		▲11.7

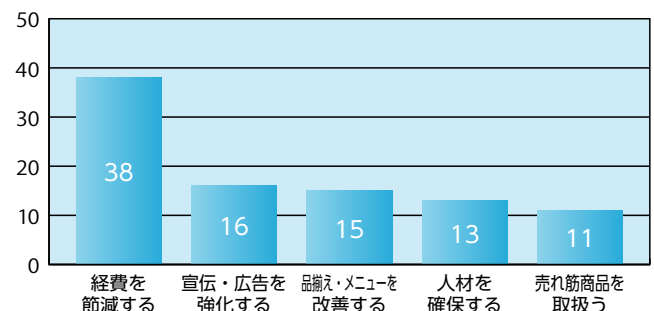
当期実績…2026年 1～3月期  
来期予想…2026年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降  
過剰、楽 適正 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# サービス業

## 概況

サービス業の業況判断D.I.は前回調査比9.3ポイント悪化の▲9.3となりました。項目別では、売上額D.I.は28.6ポイント悪化の▲4.6、収益D.I.は33.5ポイント悪化の▲13.9となっております。

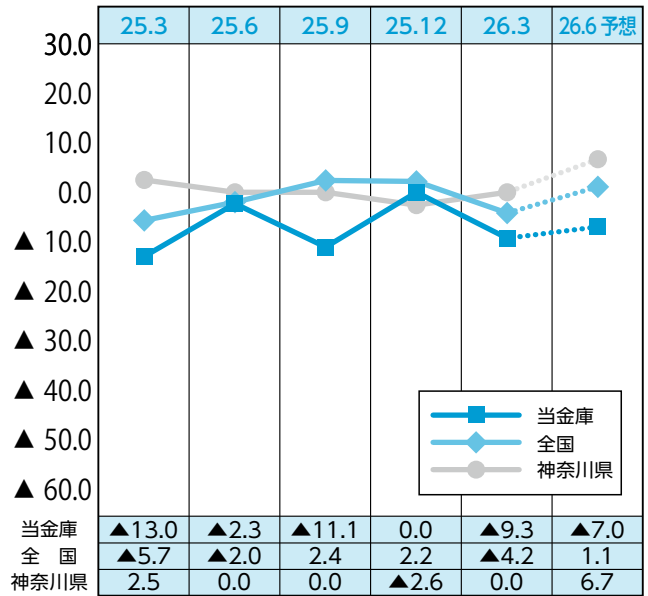
サービス業では、人手不足感が依然として顕著であり、企業の稼働状況やサービス提供体制の維持に対する影響が見受けられ、売上・収益に対する下押し要因となっております。また、秋の行楽シーズンや年末需要の反動減のほか、同業者間の競争激化や人件費等のコスト上昇なども重なり、総じて業況判断D.I.の悪化となっております。

今後につきましては、人材確保に加え、制度改正や物流効率化への対応など、外部環境の変化に応じた柔軟な対応が一層重要性を増しております。

なお、全国は6.4ポイント悪化の▲4.2となっており、神奈川県は2.6ポイント小幅改善の0となっております。

来期の予想業況判断につきましては2.3ポイント小幅改善の▲7となっております。

## 業況判断 D.I. 値



### 売上額

	前期実績			D.I.
前期実績	41.3	41.4	17.3	24.0
当期実績	18.6	58.2	23.2	▲4.6
来期予想	23.2	55.9	20.9	2.3
前年同期比	30.2	39.6	30.2	0.0

### 料金価格

	前期実績			D.I.
前期実績	21.7	78.3		21.7
当期実績	13.9	86.1		13.9
来期予想	23.2	74.5	2.3	20.9

### 資金繰り

	前期実績			D.I.
前期実績	4.3	78.4	17.3	▲13.0
当期実績	2.3	81.5	16.2	▲13.9
来期予想	2.3	81.5	16.2	▲13.9

### 設備状況

	前期実績			D.I.
前期実績	4.3	80.5	15.2	▲10.9
当期実績	4.7	81.1	14.2	▲9.5
来期予想	7.3	75.7	17.0	▲9.7

### 収益

	前期実績			D.I.
前期実績	36.9	45.8	17.3	19.6
当期実績	11.6	62.9	25.5	▲13.9
来期予想	18.6	62.8	18.6	0.0
前年同期比	20.9	46.6	32.5	▲11.6

### 材料価格

	前期実績			D.I.
前期実績	56.5	41.4	2.1	54.4
当期実績	53.4	44.3	2.3	51.1
来期予想	44.1	51.3	4.6	39.5

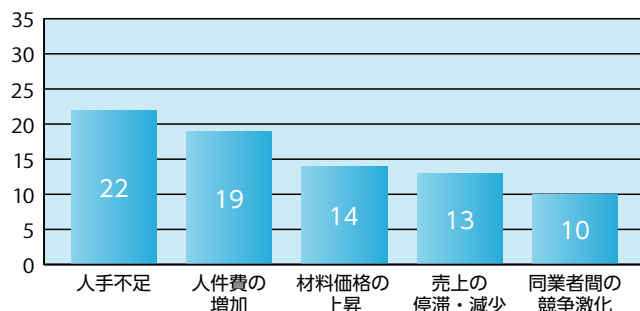
### 人手

	前期実績			D.I.
前期実績	4.3	41.4	54.3	▲50.0
当期実績	46.6		53.4	▲53.4
来期予想	2.3	44.3	53.4	▲51.1

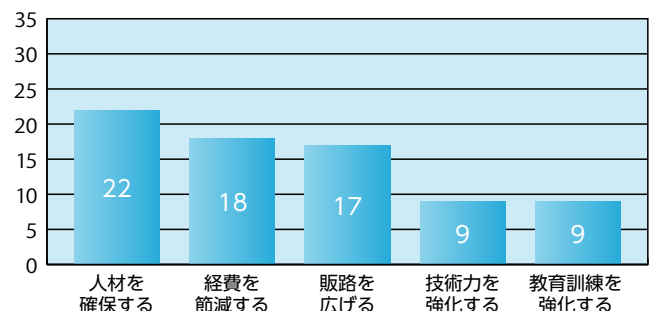
当期実績…2026年 1～3月期  
来期予想…2026年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降  
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# 建設業

## 概況

建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 2.7 ポイント小幅改善の 19.1 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 9.1 ポイント改善の 20.6、収益 D.I. は 14.3 ポイント改善の 17.5 となっております。

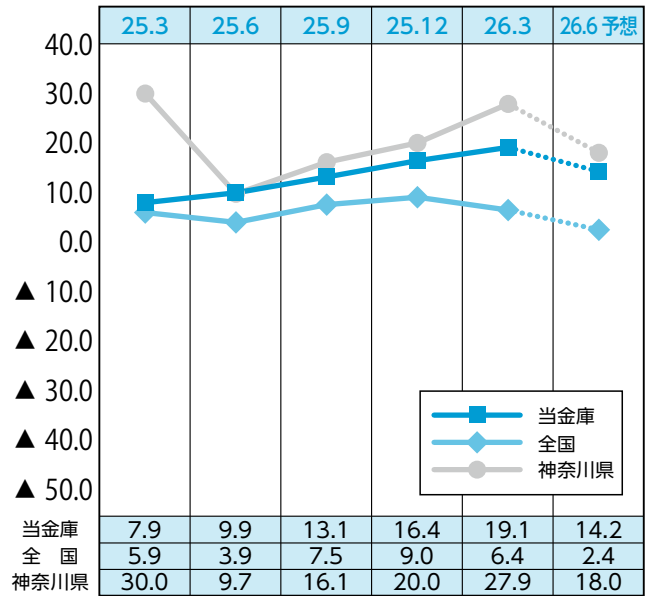
建設業では、前回調査に引き続き主要取引先をはじめ、都内や県東部における建設需要が好調を維持しており、業況判断 D.I. は 12 期連続のプラス域で推移しております。また、公共工事や民間設備投資の動きが受注を下支えするなか、リフォーム関連の受注に注力する企業がみられるなど、底堅い需要の取り込みにより、収益の確保を図る企業がみられております。

一方、人手不足感は全業種の中で最も強いものとなっており、工期の延長や機会損失等がみられております。また、都内を中心として工期の長い受注案件も多いことから、協力企業を含めた人員体制の構築を課題とする企業が増加しております。

なお、全国は 2.6 ポイント小幅悪化の 6.4 となっており、神奈川県は 7.9 ポイント改善の 27.9 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 4.9 ポイント悪化の 14.2 となっております。

## 業況判断 D.I. 値



### 売上額

	前期実績			当期実績			来期予想			前年同期比	D.I.
前期実績	31.1	49.3	19.6	38.0	44.6	17.4	29.0	46.9	24.1	19.0	11.5
当期実績				38.0	44.6	17.4	29.0	46.9	24.1		20.6
来期予想				29.0	46.9	24.1	29.0	46.9	24.1		4.9
前年同期比				41.2	36.6	22.2	41.2	36.6	22.2		19.0

### 請負価格

	前期実績			当期実績			来期予想			D.I.
前期実績	26.2	64.0	9.8	25.3	68.4	6.3	25.3	66.8	7.9	16.4
当期実績				25.3	68.4	6.3	25.3	66.8	7.9	19.0
来期予想				25.3	66.8	7.9	25.3	66.8	7.9	17.4

### 在庫

	前期実績			当期実績			来期予想			D.I.
前期実績	3.2	95.2	1.6	4.7	93.8	1.5	3.1	93.8	3.1	1.6
当期実績				4.7	93.8	1.5	3.1	93.8	3.1	3.2
来期予想				3.1	93.8	3.1	3.1	93.8	3.1	0.0

### 人手

	前期実績			当期実績			来期予想			D.I.
前期実績	49.2	50.8	50.8	1.5	41.4	57.1	1.6	50.1	48.3	▲50.8
当期実績				1.5	41.4	57.1	1.6	50.1	48.3	▲55.6
来期予想				1.6	50.1	48.3	1.6	50.1	48.3	▲46.7

### 収益

	前期実績			当期実績			来期予想			前年同期比	D.I.
前期実績	24.5	54.2	21.3	33.3	50.9	15.8	25.8	50.1	24.1	17.4	3.2
当期実績				33.3	50.9	15.8	25.8	50.1	24.1		17.5
来期予想				25.8	50.1	24.1	25.8	50.1	24.1		1.7
前年同期比				38.0	41.4	20.6	38.0	41.4	20.6		17.4

### 材料価格

	前期実績		当期実績		来期予想		D.I.
前期実績	68.8	31.2	65.0	35.0	53.9	46.1	68.8
当期実績			65.0	35.0	53.9	46.1	65.0
来期予想			53.9	46.1	53.9	46.1	53.9

### 資金繰り

	前期実績			当期実績			来期予想			D.I.
前期実績	13.1	72.2	14.7	15.8	73.1	11.1	7.9	82.6	9.5	▲1.6
当期実績				15.8	73.1	11.1	7.9	82.6	9.5	4.7
来期予想				7.9	82.6	9.5	7.9	82.6	9.5	▲1.6

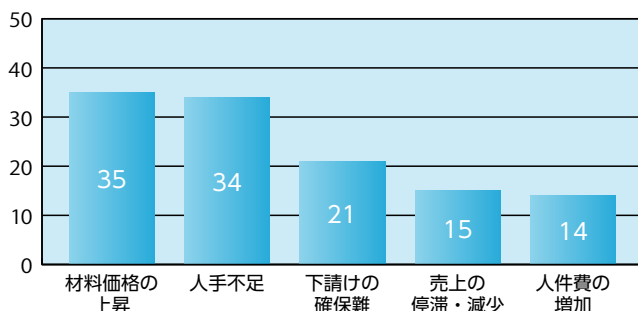
### 設備状況

	前期実績			当期実績			来期予想			D.I.
前期実績	1.6	95.2	3.2	4.8	92.0	3.2	3.2	92.0	4.8	▲1.6
当期実績				4.8	92.0	3.2	3.2	92.0	4.8	1.6
来期予想				3.2	92.0	4.8	3.2	92.0	4.8	▲1.6

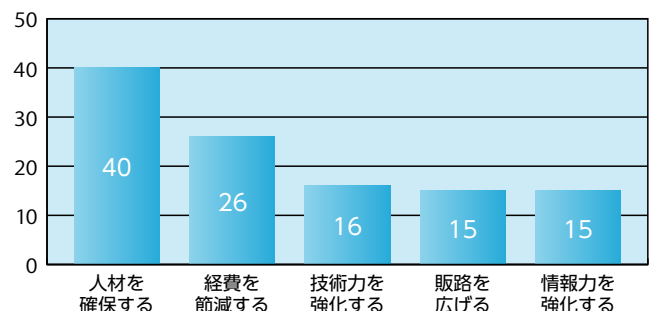
当期実績…2026年 1～3月期  
来期予想…2026年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降  
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# 不動産業

## 概況

不動産業の業況判断 D.I. は前回調査から 14.9 ポイント悪化の▲25.7 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 8.8 ポイント悪化の▲11.5、収益 D.I. は 17.7 ポイント悪化の▲25.8 となっております。

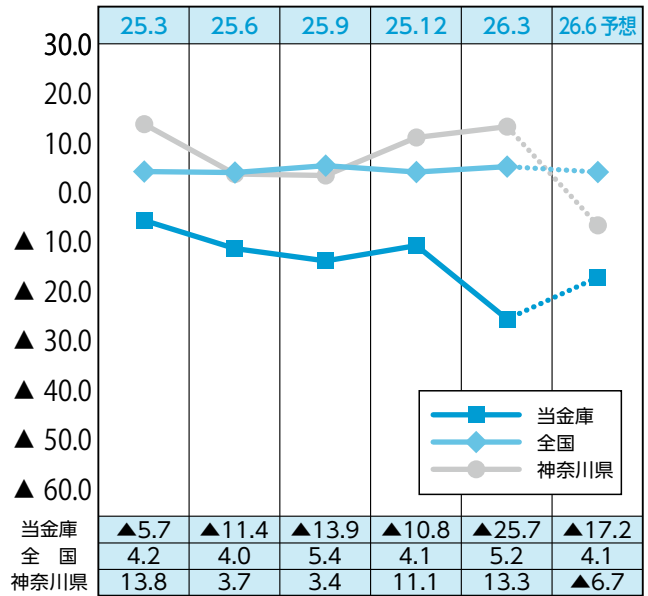
当金庫エリア内における販売動向については、物価高騰や市場金利の変動などを背景とした消費マインドの低下により、引き続き需要の鈍化傾向がみられております。また、同業者間の競争激化から適正価格での仕入が困難な状況が続いており、商品確保に苦戦するなか、在庫の不足感は一段と強まっております。

さらに、保有物件の長期化に伴う価格見直しの動きが一部にみられたほか、土地造成費用の高騰分に対する価格転嫁も思うように進まない状況から、資金繰りへの負担が増しており、資金繰り D.I. は 14.4 ポイント悪化の▲17.1 となっております。

なお、全国は 1.1 ポイント小幅改善の 5.2 となっており、神奈川県は 2.2 ポイント小幅改善の 13.3 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 8.5 ポイント改善の▲17.2 となっております。

## 業況判断 D.I. 値



### 売上額

	前期実績	2026年1~3月	2026年4~6月	D.I.
前期実績	18.9	59.5	21.6	▲2.7
当期実績	14.2	60.1	25.7	▲11.5
来期予想	22.8	60.1	17.1	5.7
前年同期比	25.7	37.2	37.1	▲11.4

### 販売価格

	前期実績	2026年1~3月	2026年4~6月	D.I.
前期実績	-10.8	67.6	21.6	▲10.8
当期実績	11.4	68.6	20.0	▲8.6
来期予想	-8.5	80.1	11.4	▲2.9

### 在庫

	前期実績	2026年1~3月	2026年4~6月	D.I.
前期実績	-5.5	44.5	50.0	▲44.5
当期実績	-5.7	34.3	60.0	▲54.3
来期予想	-2.8	34.4	62.8	▲60.0

### 人手

	前期実績	2026年1~3月	2026年4~6月	D.I.
前期実績	81.1	18.9	18.9	▲18.9
当期実績	88.6	11.4	11.4	▲11.4
来期予想	91.5	8.5	8.5	▲8.5

### 収益

	前期実績	2026年1~3月	2026年4~6月	D.I.
前期実績	18.9	54.1	27.0	▲8.1
当期実績	14.2	45.8	40.0	▲25.8
来期予想	25.7	60.1	14.2	11.5
前年同期比	20.0	40.0	40.0	▲20.0

### 仕入価格

	前期実績	2026年1~3月	2026年4~6月	D.I.
前期実績	32.4	62.2	5.4	27.0
当期実績	28.5	65.8	5.7	22.8
来期予想	17.1	74.4	8.5	8.6

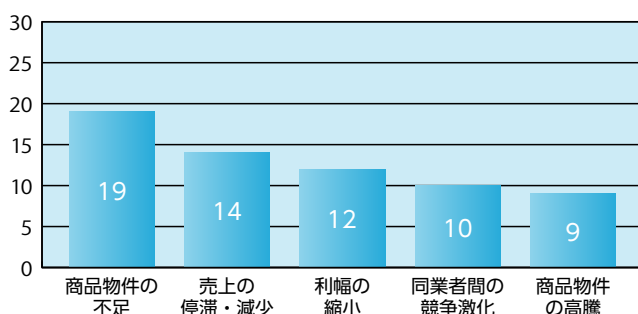
### 資金繰り

	前期実績	2026年1~3月	2026年4~6月	D.I.
前期実績	-8.1	81.1	10.8	▲2.7
当期実績	-5.7	71.5	22.8	▲17.1
来期予想	-5.7	71.5	22.8	▲17.1

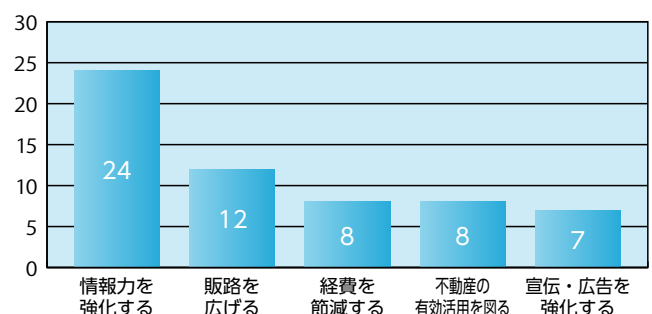
当期実績…2026年 1～ 3月期  
来期予想…2026年 4～ 6月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降  
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 340 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問1. 貴社では、外国人材（正社員、技能実習生、特定技能、留学生アルバイト等）を活用していますか。あてはまるものを1つ選んでお答えください。

- |   |  |
|---|--|
| <input type="radio"/> 正社員として雇用している …………… 26 社     | <input type="radio"/> 今後雇用を検討している …………… 8 社      |
| <input type="radio"/> 非正規（技能実習生等）として雇用している … 16 社 | <input type="radio"/> 条件次第で雇用を検討する可能性がある … 22 社  |
| <input type="radio"/> 正社員・非正規の両方で雇用している …… 4 社    | <input type="radio"/> 雇用したことはなく、今後も予定はない … 206 社 |
| <input type="radio"/> 過去に雇用したことがある …………… 25 社     | <input type="radio"/> その他（ ）…………… 6 社            |

問2. 問1で「雇用している」「過去に雇用したことがある」「今後雇用を検討している」「条件次第で雇用を検討する可能性がある」と回答した企業に伺います。

外国人材を活用する主な目的について、あてはまるものを最大3つまで選んでお答えください。

- |   |  |
|---|--|
| <input type="radio"/> 慢性的な人手不足の解消 …………… 57 社      | <input type="radio"/> 事業拡大や受注増加への対応 …………… 18 社 |
| <input type="radio"/> 特定の仕事（現場業務等）を担う人材の確保 … 29 社 | <input type="radio"/> 職場の多様性や活性化 …………… 4 社     |
| <input type="radio"/> 専門性の高い人材（高度な技術・知見）の確保 … 6 社 | <input type="radio"/> 特に明確な目的はない …………… 23 社    |
| <input type="radio"/> 採用コストの抑制（教育訓練費の補助等） …… 4 社  | <input type="radio"/> その他（ ）…………… 4 社          |

問3. 現在または過去に外国人材を雇用している企業に伺います。

外国人材の活用が、貴社の事業運営にどのような影響を与えていますか。あてはまるものを最大3つまで選んでお答えください。

- |  |  |
|--|--|
| <input type="radio"/> 人手不足の緩和 …………… 47 社         | <input type="radio"/> 影響はあまりない …………… 11 社      |
| <input type="radio"/> 生産量・サービス提供体制の維持・拡大 …… 20 社 | <input type="radio"/> 定着率が低く、効果が得られていない …… 5 社 |
| <input type="radio"/> 従業員一人あたりの業務負担軽減 …………… 21 社 | <input type="radio"/> まだ評価できる段階ではない …………… 2 社  |
| <input type="radio"/> 教育・指導にかかるコスト負担の増加 …… 6 社   | <input type="radio"/> その他（ ）…………… 0 社          |

問4. 現在または過去に外国人材を雇用している企業に伺います。

外国人材の雇用・定着にあたって、課題や負担に感じている点について、あてはまるものを最大3つまで選んでお答えください。

- |  |   |
|--|---|
| <input type="radio"/> 想定より採用に結びついていない …………… 0 社  | <input type="radio"/> 生活面（住居・交通・医療等）の支援が必要 … 19 社 |
| <input type="radio"/> コミュニケーション面に課題を感じる …… 25 社  | <input type="radio"/> 文化・習慣の違いへの対応が必要 …………… 27 社  |
| <input type="radio"/> 在留資格・制度が複雑でわかりにくい …… 13 社  | <input type="radio"/> 特に大きな課題は感じていない …………… 17 社   |
| <input type="radio"/> 受け入れや管理にかかる事務負担が大きい … 20 社 | <input type="radio"/> その他（ ）…………… 2 社             |

問5. 問1で「雇用したことはなく、今後も予定はない」と回答した企業に伺います。

外国人材を活用していない、または活用をためらう理由について、あてはまるものを最大3つまで選んでお答えください。

- |   |  |
|---|--|
| <input type="radio"/> 現状で対応できている …………… 93 社       | <input type="radio"/> 教育・管理の負担が大きい …………… 57 社  |
| <input type="radio"/> 外国人材を受け入れる業務がない …………… 23 社  | <input type="radio"/> 社内・取引先の理解が得られにくい …… 16 社 |
| <input type="radio"/> 言語・文化・トラブル対応への不安が大きい … 61 社 | <input type="radio"/> 特に理由はなく、検討していない …… 66 社  |
| <input type="radio"/> 制度や手続きが分かりにくい …………… 24 社    | <input type="radio"/> その他（ ）…………… 3 社          |

## 「売上を増やすためには？ ～自社の強みを見つける3つの視点～」

今回は、売上げづくりの土台となる「自社の強みの見つけ方」についてご紹介いたします。強みというと特別な技術や他にはない商品を思い浮かべがちですが、実際には、日常業務の中にヒントが隠されていることも少なくありません。そこで今回は、自社の強みを整理するための3つの視点をご紹介します。

- ・視点1：【お客様の目線で価値があるか】  
自社が当たり前に行っていることでも、お客様にとっては「ありがたい」と感じられている場合があります  
＜例＞「対応が早い」「相談しやすい雰囲気」「細かい要望に応じてくれる」
- ・視点2：【他社でも簡単にマネできるか】  
長年の経験や地域とのつながりなど、時間をかけて培ってきたものは、簡単にはマネされにくい要素です  
＜例＞「ベテラン社員のノウハウ」「取引先との長年の信頼関係」「地元事情に詳しい」
- ・視点3：【その強みが、今のやり方で活かしているか】  
強みがあっても、お客様に伝わってなければ十分に活かしきれないこともあります  
＜例＞「強みがHPやチラシなどに書かれていない」「担当者しか知らない」

→自社の強みを整理することで、「どこで頑張るべきか」「何を前面に出すか」が明確になります。無理に新しいことを始めるのではなく、今ある資源を見直し、活かすことが売上につながる第一歩です。